

恵庭商工会議所
役員・議員並びに会員の皆様へ

恵庭商工会議所

恵庭市内景況（マインド）調査へのご協力のお礼について

毎々、標記調査にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。つきましては、前回調査の集計結果概要について、以下の通りご報告申し上げます。詳細やご不明な点等がございましたら、商工会議所（TEL 34-1111：経営支援課）までお気軽にお問い合わせください。

サンプル数の状況

調査年月	調査数	回答数	商業	工業	建設業	サービス業
R7.7月	200	95	20	32	23	20
		47.5【%】	21.1%	33.7%	24.2%	21.0%

（注）※ D.I値（景況判断指数）について

D. I. とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加」・「上昇」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「低下」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

$$D.I = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$$

【 業況・採算：（好転）－（悪化） 売上：（増加）－（減少） 】

～ 本件に関する
お問い合わせ先 ～

※ 印刷の不鮮明等がございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

〒 061-1444

恵庭市京町80番地

恵庭商工会議所 経営支援課

【TEL】

34-1111番

【FAX】

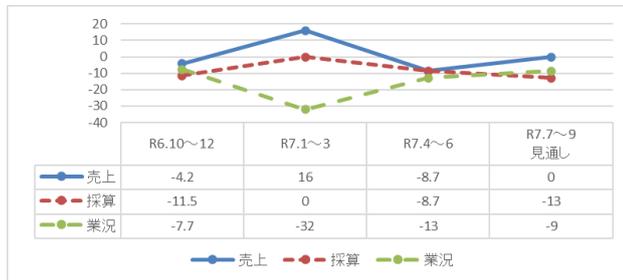
34-0133番

【Eメール】

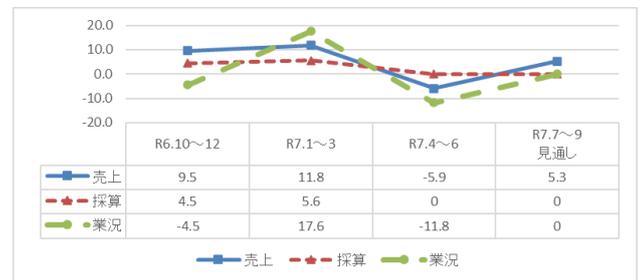
eniwacci@eniwa-cci.or.jp

恵庭市内 産業別 DI 【実績】 令和6年10月～12月、令和7年1月～3月、4月～6月
【見通し】 令和7年7月～9月見通し

建設業



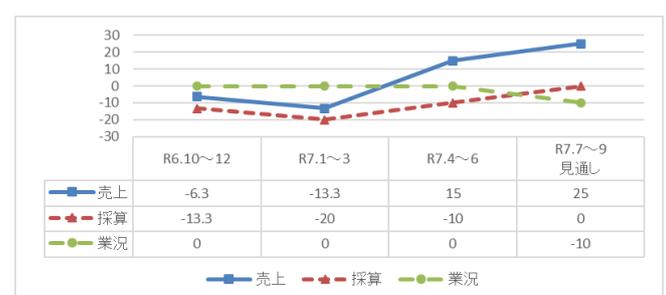
商業



工業



サービス業



【建設業】

- ・ラピダス関連で、千歳で大きな工事が多くなってきたが、それに関する売上と市内工事の少なさで±0。
- ・春先は受注量減少気味。6月以降に増加予想している。

【工業】

- ・従業員確保及び維持の為、賃金を増加。社員の福利厚生<トイレ増設、喫煙室等>増設他
- ・原料仕入価格が上昇しているため採算が合わなくなっている
- ・ラピダスの影響はありません
- ・原料高騰により利益確保が難しくなっている。人材不足問題有。
- ・原料仕入価格高騰による原価増分を、お客様のご理解により価格に転嫁できたことにより、昨年より売上が増加した。
- ・メーカー、商社いずれも値上げ通達が多くなっているが、値上げ交渉にはそれほど困る事なく、価格転嫁は出来ている。
- ・鉄骨物件の中止、延期、計画の見直しに伴い受注減、過去にない記録的な低水準。建設コストの高騰や人材不足などが主要因。

【商業】

- ・4月5月はある程度の受注があったが、6月は昨年に比して激減した。
- ・売店を閉店しました。
- ・計画対比123%、前年比89%、売上げは横ばい状態ですが利益が前年比89%と仕入原価の上昇分が転換できず、配送費負担増も加わり更には大手業者との価格競争が厳しい。
- ・新車、中古車がゆるやかに上昇、修理も少し多い。
- ・6月まで病気の為、営業できませんでしたので実績がありません

【サービス業】

- ・自然減による従業員減少で新規採用も厳しく、売上減につながっています。休暇が多く、売上減で利益も減です。ラピダスに関連した売上は増です。
- ・宿泊者数は増えている

【建設業】

- ・7～9月の好転要素は無し。良くて維持か。

【工業】

- ・設備投資＜車の維持等＞が上昇
- ・設備工事関係の遅れによる生産負荷の発生
- ・4月～6月と景況は変わらない見込。
- ・ラピダスの影響はありません
- ・値上により販売数量が落ち出している。異常気象による消費減退が有。
- ・ラピダス進出による賃貸住宅棟が活況の中、物価、人件費、土地価格等の高騰による住宅着工数減少により出荷数量が減となる。
- ・10月以降仕入れ価格の上昇見込みのため、対策準備が必要と考えてます。
- ・下半期以降、参議院選挙後の政局により公共工事の発注量や発注時期がどのように影響していくか、注視している。
- ・大型案件の受注が続いており、売上利益共に堅調で推移している。業績が安定している時に将来の展望を固めていきたいがなかなか難しい。
- ・引き続き今後の見通しは不透明感が強い。

【商業】

- ・7月中旬よりやや持ち直してこのまま好調を望む。
- ・コロナの支払いのため（売上減少、資金繰り悪化）
- ・官庁の大型契約納品が8月には終了見込で売上及び収益共、計画・前年実績を大きく上回る見込です。国の物品購入が中央より大手企業寄りになっており地方企業には痛手となっています。
- ・7月は大きな催事が成功したので（昨対38%UP）、見通しが良い。8・9月はリピート率UPの工夫をしていく予定。
- ・あまり変わらない感じかも知れない
- ・7月より営業始めましたが、体調に注意しながら仕事しております。

【サービス業】

- ・物価高の影響が大きい。
- ・スタッフ増は厳しそうなので、引き続き売上減となりそうです。売上単価は上昇しているので赤字までは至らずと思われます。